

# 実施上の注意事項 標準化事業用

感染などの危険性があるので、通常の患者検体と同様に注意して取り扱ってください。

## 試料の取り扱い

試料 2 (3.0mL)	<b>凍結品 -10℃以下(できれば-30℃以下)</b> 流水(水道水)にて融解(5~10分)、冷蔵庫にて2時間以上(安定化時間)放置後、当日中に測定してください。
試料 1, (1.7mL) HDL-C1 HDL-C2 (0.75mL)	<b>凍結 -10℃以下(できれば-30℃以下)</b> 試料を袋から取り出し、キャップが緩んでいないことを確認してください。立てた状態で1,3,A,Bは30分室温放置し融解後、20回以上転倒混和してご使用ください。 フィブリンなどを認めた際は、遠心しその上清をご使用ください。 融解後はできるだけ速やかに測定してください。ヒトプール血清です。試料の取り扱いは感染の危険性があるものとして、十分注意してください。

## HbA1c(NGSP値)測定用 No1,2 使用方法 (8月に実施した方法と同様です)

共通	20分程室温に放置し完全に融解後、均一になるよう混和します。測定は、以下の各装置、試薬の希釈倍率を参照して下さい。試料は感染の可能性のあるものとして注意して取り扱いください。
アークレイ(HPLC)	試料と生理食塩水を約1:1(約350μL:350μLなど)で希釈し、空の採血管に入れるなどして、全血検体と同様に測定
アークレイ(スポットケム)	
東ソー(HPLC)	
シーメンス Dimensionシリーズ、DCAシステム	精製水・蒸留水で101倍希釈して測定
協和メデックス DM-JACKなど	専用のHbA1c前処理液で31倍希釈して測定
積水メディカル(酵素法) ノルディア	専用の溶血液でさらに101倍希釈して測定
ロシユ(免疫法) リキテックHbA1cⅡ(モジュラー/汎用装置) コバス試薬HbA1cⅡ(cobas c501)	試料と生理食塩水を1:1で希釈したものを、専用の溶血液でさらに101倍希釈して測定
ロシユ(免疫法) コバス試薬HbA1c(インテグラシリーズ)	試料と生理食塩水を1:1で希釈したものを、専用の溶血液でさらに51倍希釈して測定